



内閣府

平成27年度科学技術関係予算案 の資源配分方針に基づく重点化等 の状況について

平成27年3月
内閣府政策統括官
(科学技術・イノベーション担当)

平成27年度アクションプラン対象施策について

【参考】

重点対象	平成27年度特定施策数		平成27年度概算要求額	平成27年度当初予算額		平成27年度当初予算額 + 平成26年度補正予算額
	SIPを中心とした先導役の施策数	新たな先導役を誘導する施策数 (においては健康・医療戦略推進本部において定めた重点領域に基づく施策数)		平成27年度当初予算額	平成26年度補正予算額	
・クリーンで経済的なエネルギーシステムの実現	45		1,030億円	926億円	-	926億円
	10	35				
・国際社会の先駆けとなる健康長寿社会の実現	50		1,217億円	1,061億円	11億円	1,072億円
	-	50				
・世界に先駆けした次世代インフラの構築	44		669億円	480億円	82億円	562億円
	34	10				
・地域資源を活用した新産業の育成	11		96億円	76億円	-	76億円
	8	3				
・東日本大震災からの早期の復興再生	24		364億円	294億円	-	294億円
	-	24				
合計(注)	153		2,967億円	2,494億円	93億円	2,588億円
	50	103				

平成26年度特定施策数	平成26年度当初予算額 + 平成25年度補正予算額
クリーンで経済的なエネルギーシステムの実現	
35	1,165億円
国際社会の先駆けとなる健康長寿社会の実現	
7	789億円
世界に先駆けした次世代インフラの整備	
15	444億円
地域資源を‘強み’とした地域の再生	
15	327億円
東日本大震災からの早期の復興再生	
26	245億円
98	2,971億円

健康・医療戦略推進本部が取りまとめた各省連携プロジェクトをアクションプラン対象施策としている。

(注) 合計は、再掲分を除いて計上。

・金額：四捨五入の関係で合計は一致しない。

平成27年度イノベーション環境創出のための重点施策

(制度面に係るものを除く)

内数：運営費交付金の内数
金額は百万円の位を四捨五入

	パッケージ	平成27年度 概算要求額	平成27年度 当初予算額	平成26年度 補正予算額
	対象施策			
若手・女性の挑 戦の機会の拡大	中長期研究人材交流システム構築事業(経産省)	0.7億円	0.6億円	-
	科学技術人材育成のコンソーシアムの構築・定着事業(文科省)	20.5億円	13.3億円	-
	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(文科省)	26.0億円	10.9億円	-
	頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進事業(文科省)	27.3億円	19.0億円	-
	海外特別研究員事業(文科省)	26.3億円	20.6億円	-
	戦略的国際協力研究イノベーション共同ラボの形成 戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)の一部(文科省)	17.8億円	内数	-
	研究大学強化促進事業(文科省)	64.0億円	62.0億円	-
	博士課程教育リーディングプログラム(文科省)	185.0億円	177.6億円	-
	世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)(文科省)	99.1億円	96.1億円	-
研究開発法人を 中核としたイノ ベーションハブ の形成	研究開発法人を中核としたイノベーションハブの構築(文科省)	内数	内数	-
	ナノテクノロジープラットフォーム(文科省)	20.2億円	17.1億円	-
	プログラム・マネージャー(PM)の育成・活躍推進プログラム(文科省)	内数	内数	-
	産総研における「橋渡し」研究機能強化事業(経産省)	19.0億円	内数	-
中小・ベンチャー 企業の挑戦の機 会の拡大	中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業(経産省)	24.0億円	-	14.2億円
	研究開発型ベンチャー支援事業(経産省)	47.0億円	-	17.6億円
	【再掲】産総研における「橋渡し」研究機能強化事業(経産省)	19.0億円	内数	-
	グローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGEプログラム)(文科省)	12.3億円	8.7億円	-
	戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)(総務省)	21.6億円	19.6億円	-
	I-Challenge!(ICTイノベーション創出チャレンジプログラム)(総務省)	5.0億円	3.7億円	-
	ICTオープンイノベーション促進研究開発事業(総務省)	4.0億円	-	-
合計		673.7億円	483.0億円	31.8億円

フラッグシップ2020プロジェクト（ポスト「京」の開発）【文部科学省】

評価結果（案）の概要

（平成25年12月の事前評価の結果を踏まえ、再度の評価を実施）

【概算要求時点での事業計画】 <実施期間>平成26(2014)年度～平成31(2019)年度

<予算額>平成27年度予算案:約40億円、国費総額:約1100億円

事業概要

2020年をターゲットとし、幅広いアプリケーションソフトウェアを高い実効性能で利用できる**世界最高水準のスーパーコンピュータ**と、我が国が直面する課題の解決に資する**アプリケーション**を協動的に**開発**する。

開発目標

- ・最大で「京」の100倍のアプリケーション実効性能（ターゲットとするアプリケーションソフトウェアを実行した場合の演算速度）
- ・30～40MWの消費電力（「京」は12.7MW）

評価結果

総合評価

世界最高水準の汎用性のあるスーパーコンピュータの実現を目指すものであり、意義・必要性は改めて認められる。

- ・システム構成の見直しにより、様々なアプリケーションに対応可能な汎用性の高いシステムを開発
- ・世界最高水準の計算機システムに対応した開発目標を設定

9つの**重点課題の設定**、ターゲットアプリケーションについての適切な方針設定等、**事前評価での指摘事項に対応。**

平成28年度にフォローアップを行うほか、平成29年度の文部科学省の中間評価結果を踏まえ、CSTIでの**中間評価**の実施を判断。

主な指摘事項

- ・スパコン開発の**意義・必要性、有効性**を一般国民も実感できるよう、アウトカムを更に具体化、明確化すべき。
- ・継続して競争力を確保するための**長期的な技術開発戦略**の検討が必要。
- ・CPU製造の海外委託に際しての歩留りの確保等、**想定されるリスクへの対応策**の検討が必要。

【事前評価後のシステム構成の見直し】

